

I 庶務報告

(1) 会員の異動状況

	平成23年2月現在	平成22年2月現在	増減
名誉会員	54名(含国外20)	53名(含国外20)	+ 1
正会員	4,394名	4,378名	+ 16
外国会員	27名	26名	+ 1
賛助会員	23社	26社	- 3
入会	正127名		
退会	正111名(含除名24名) 賛助3名		

物故会員(五十音順)-敬称略-

名誉会員 すがわら みつお
菅原 光雄

正会員 えはら ひろし かわうち くにお さとう しんいち
穎原 寛、川内 邦男、佐藤 晋一
まつだ ただし やぎした くにお
松田 正、柳下 邦男

(以上 6名)

(2) 会議に関する事項

1. 理事会

平成22年度第1回 平成22年7月9日(金)

東京ステーションコンファレンス 6F『605-B』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第19回基礎学術集会の件
 - (3) 第54回総会・学術集会の件
 - (4) 第20回基礎学術集会の件
 - (5) 平成22年度各種委員会活動方針並びに予算案の件
 - (6) 各種委員会報告の件
 - (7) 専門医統括会議からの報告
 - (8) 皮膚腫瘍外科指導専門医の件
 - (9) 日本専門医制評価・認定機構の件
 - (10) 会費滞納者除名に関する件
 - (11) 新入会員・退会会員の件
 - (12) その他

平成22年度第2回 平成22年9月15日(水)

パシフィコ横浜 3F『311+312』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第19回基礎学術集会の件
 - (3) 第54回総会・学術集会の件
 - (4) 第20回基礎学術集会の件
 - (5) 第53回総会・学術集会の件
 - (6) 平成22年度会計中間報告の件
 - (7) 各種委員会報告の件
 - (8) 専門医統括会議からの報告
 - (9) 皮膚腫瘍外科指導専門医の件
 - (10) 新入会員・退会会員の件
 - (11) その他

平成22年度第3回 平成23年2月18日(金)

TKP 日本橋ビジネスセンター 9F 『カンファレンスルーム29A』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第19回基礎学術集会の件
 - (3) 第54回総会・学術集会の件
 - (4) 第20回基礎学術集会の件
 - (5) 第55回総会・学術集会の件
 - (6) 評議員選挙結果報告の件
 - (7) 日本手外科学会 Subspecialty の件
 - (8) 平成22年度収支見込決算ならびに平成23年度予算大綱の件
 - (9) 各種委員会報告の件
 - (10) 専門医統括会議からの報告
 - (11) 皮膚腫瘍外科指導専門医の件
 - (12) 名誉会員等推戴に関する件
 - (13) 会費滞納者除名に関する件
 - (14) 新入会員・退会会員の件
 - (15) その他

平成22年度第4回 平成23年4月12日(火)

ホテルクレメント徳島 3F 『ハーモニーホール』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第54回総会・学術集会の件
 - (3) 第55回総会・学術集会の件
 - (4) 第56回総会・学術集会の件
 - (5) 第20回基礎学術集会の件
 - (6) 第21回基礎学術集会の件
 - (7) 第22回基礎学術集会の件
 - (8) 平成22年度会計決算報告ならびに平成23年度予算案の件
 - (9) 名誉会員等推戴に関する件
 - (10) 各種委員会報告の件
 - (11) 日韓形成外科学会の件
 - (12) 日中形成外科学会の件
 - (13) 会費滞納者除名に関する件
 - (14) 新入会員・退会会員の件
 - (15) 評議員提出議題の件
 - (16) その他

2. 評 議 員 会

平成22年度定例評議員会 平成22年4月6日(火)

ANAクラウンプラザホテル金沢 3F『鳳』

- 議 事
- (1) 平成21年度年次報告の件
 - (2) 平成21年度収支決算の件
 - (3) 平成22年度事業計画の件
 - (4) 平成22年度収支予算の件
 - (5) 専門医制度ならびに専門医生涯教育制度施行細則等に関する件
 - (6) 指導専門医制度立上げ
～皮膚腫瘍外科指導専門医規則に関する件
 - (7) 名誉会員推戴の件
 - (8) 第53回 総会・学術集会の件
 - (9) 第54回(次期)総会・学術集会の件
 - (10) 第55回(次々期)総会・学術集会の件
 - (11) 第56回(次々々期)総会・学術集会会長候補者選出の件
 - (12) 第19回 基礎学術集会の件
 - (13) 第20回(次期)基礎学術集会の件
 - (14) 第21回(次々期)基礎学術集会の件
 - (15) 第22回(次々々期)基礎学術集会会長候補者選出の件
 - (16) 一般社団法人移行の件
 - (17) IPRAS・APSの件
 - (18) 日韓形成外科学会の件
 - (19) 日中形成外科学会の件
 - (20) 除名の件
 - (21) 評議員提出議題の件
 - (22) その他

3. 総 会

平成22年度通常総会 平成22年4月8日(木)

石川県立音楽堂 コンサートホール 『第1会場』

- 議 事
- (1) 平成21年度年次報告の件
 - (2) 平成21年度収支決算の件
 - (3) 平成22年度事業計画の件
 - (4) 平成22年度収支予算の件
 - (5) 専門医制度ならびに専門医生涯教育制度施行細則等に関する件
 - (6) 指導専門医制度立上げ
～皮膚腫瘍外科指導専門医規則に関する件
 - (7) 名誉会員承認の件
 - (8) 第53回 総会・学術集会の件
 - (9) 第54回(次期)総会・学術集会の件
 - (10) 第55回(次々期)総会・学術集会の件
 - (11) 第56回(次々々期)総会・学術集会会長候補者承認の件
 - (12) 第19回 基礎学術集会の件
 - (13) 第20回(次期)基礎学術集会の件
 - (14) 第21回(次々期)基礎学術集会の件
 - (15) 第22回(次々々期)基礎学術集会会長候補者承認の件
 - (16) 一般社団法人移行の件

- (17) IPRAS・APSの件
- (18) 日韓形成外科学会の件
- (19) 日中形成外科学会の件
- (20) 除名の件
- (21) 評議員提出議題の件
- (22) その他

II 事業報告

(1) 第53回日本形成外科学会総会・学術集会

会期：平成22年4月7日（水）、8日（木）、9日（金）
 会場：石川県立音楽堂・ANAクラウンプラザホテル金沢・ホテル日航金沢
 会長：川上 重彦 金沢医科大学形成外科学教室

下記の日本形成外科学会招待教育講演、特別講演兼市民公開講座、教育講演、ガイドラインシンポジウム、社会保険委員会報告が行われた。

【招待教育講演】 第1日 4月7日（水）
 司会 長崎大学形成外科 平野 明喜
 『Aesthetic surgery of the facial mid-third』

Henry K Kawamoto Jr.
 Clinical Professor, Chief of Pediatric Plastic Surgery,
 Emeritus, David Geffen School of Medicine at UCLA,
 Division of Plastic and Reconstructive Surgery

【特別講演兼市民公開講座】 第1日 4月7日（水）
 司会 徳島大学形成外科 中西 秀樹
 『私の出会ったマンガ家達とマンガ文化の海外事情』
 大阪芸術大学教授，漫画家 永井 豪

【特別講演兼市民公開講座】 第2日 4月8日（木）
 司会 藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子
 『仕事で育ててくれたイメージーション』
 Ash tsujiguchi 社長, パティシエ, モンサンクレールオーナーシェフ 辻口 博啓

【教育講演1】 第1日 4月7日（水）
 司会 名古屋大学形成外科 亀井 譲
 『センチネルリンパ節生検とリンパ管静脈移植術：
 リンパ管の可視化技術の進歩』
 北海道大学形成外科 古川 洋志

【教育講演2】 第1日 4月7日（水）
 司会 国立成育医療センター形成外科 金子 剛
 『小耳症手術の成功のためのポイント』
 札幌医科大学形成外科 四ッ柳高敏

- 【教育講演 3】 第1日 4月7日(水)
司会 埼玉医科大学総合医療センター形成外科 三鍋 俊春
『下肢への皮弁移植』
岩手医科大学形成外科 柏 克彦
- 【教育講演 4】 第1日 4月7日(水)
司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦
『口唇口蓋裂の総合治療』
昭和大学形成外科 土佐 泰祥
- 【教育講演 5】 第1日 4月7日(水)
司会 日本医科大学形成外科 百束 比古
『皮弁を用いた顔面熱傷瘢痕拘縮の治療』
東京女子医科大学形成外科 櫻井 裕之
- 【教育講演 6】 第1日 4月7日(水)
司会 岩手医科大学形成外科 小林誠一郎
『マイクロサージャリーの基本手技』
杏林大学形成外科 多久嶋亮彦
- 【教育講演 7】 第2日 4月8日(木)
司会 神戸大学形成外科 田原 真也
『大胸筋皮弁：血行状態、拳上法、新たな展開』
久留米大学形成外科・顎顔面外科 力丸 英明
- 【教育講演 8】 第2日 4月8日(木)
司会 岡山大学形成外科 木股 敬裕
『頭頸部再建に用いる皮弁』
兵庫医科大学形成外科 垣淵 正男
- 【教育講演 9】 第2日 4月8日(木)
司会 帝京大学形成外科 平林 慎一
『皮膚病理と形成外科
ー形成外科医が基本的に知っておくべき皮膚腫瘍の病理組織像ー』
浜松医科大学形成外科 深水 秀一
- 【教育講演 10】 第2日 4月8日(木)
司会 愛知医科大学形成外科 横尾 和久
『人工真皮の基礎と臨床応用～将来の展望について～』
京都大学形成外科 河合 勝也
- 【教育講演 11】 第2日 4月8日(木)
司会 東京医科大学形成外科 渡辺 克益
『植皮術・皮弁を用いた手指瘢痕拘縮の治療』
長崎大学形成外科 田中 克己

- 【教育講演 12】 第2日 4月8日(木)
 司会 東京大学形成外科 光嶋 勲
 『性同一性障害に対する総合的治療』
 岡山大学形成再建外科 難波祐三郎
- 【教育講演 13】 第2日 4月8日(木)
 司会 埼玉医科大学形成外科 中塚 貴志
 『皮弁による外陰部・殿部の再建』
 徳島大学形成外科 橋本 一郎
- 【教育講演 14】 第3日 4月9日(金)
 司会 新潟大学形成外科 柴田 実
 『Breast Reconstruction with muscle sparing TRAM flap』
 張 學
 Seoul National University
 Department of Plastic and Reconstructive Surgery
- 【教育講演 15】 第3日 4月9日(金)
 司会 信州大学形成外科 松尾 清
 『上眼瞼の形成外科』
 北里研究所病院美容医学センター 佐藤 英明
- 【教育講演 16】 第3日 4月9日(金)
 司会 北里大学形成外科・美容外科 内沼 栄樹
 『美容外科における問題症例とどう向き合うべきか』
 日本医科大学形成外科 小川 令
- 【教育講演 17】 第3日 4月9日(金)
 司会 東京慈恵会医科大学形成外科 内田 満
 『手指腱損傷の治療』
 金沢医科大学形成外科 島田 賢一
- 【教育講演 18】 第3日 4月9日(金)
 司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫
 『熱傷診療ガイドラインー有効に使うにはー』
 産業医科大学形成外科 安田 浩
- 【教育講演 19】 第3日 4月9日(金)
 司会 千葉大学形成外科 佐藤 兼重
 『Hemifacial microsomia の顎骨治療』
 慶應義塾大学形成外科 緒方 寿夫
- 【教育講演 20】 第3日 4月9日(金)
 司会 新潟大学形成外科 柴田 実
 『手の外科における基本的治療戦略ー形成外科医の立場からー』
 東京慈恵会医科大学形成外科 松浦慎太郎

- 【教育講演 21】 第3日 4月9日(金)
 司会 横浜市立大学形成外科 鳥飼 勝行
 『重症虚血肢の創傷治療とトータルペイン』
 川崎市立多摩病院形成外科 松崎 恭一
- 【教育講演 22】 第3日 4月9日(金)
 司会 国際医療福祉大学附属三田病院形成外科 酒井 成身
 『Improvement of Method and Expansion of Application Field
 in LD mc-Flap Transplantation』
 上海第9病院形成外科 董 佳
- 【ガイドラインシンポジウム1】 第1日 4月7日(水)
 『頬骨骨折の診断と治療』
 司会 関西医科大学形成外科 楠本 健司
 久留米大学形成外科 清川 兼輔
 杏林大学形成外科 尾崎 峰
 帝京大学形成外科 天方 将人
 東京女子医科大学八千代医療センター形成外科
 井砂 司
 大阪医科大学形成外科 上田 晃一
 長崎大学形成外科 矢野 浩規
- 【ガイドラインシンポジウム2】 第1日 4月7日(水)
 『目窩底骨折の診断と治療』
 司会 東京医科大学形成外科 菅又 章
 香川大学形成外科 田中 嘉雄
 順天堂大学形成外科 小室 裕造
 藤田保健衛生大学形成外科 奥本 隆行
 佐賀大学形成外科 上村 哲司
 自治医科大学形成外科 菅原 康志
 沖縄県立中部病院形成外科 石田 有宏
- 【ガイドラインシンポジウム3】 第3日 4月9日(金)
 『血管腫の治療』
 司会 北海道大学形成外科 山本 有平
 福島県立医科大学形成外科 上田 和毅
 姫路医療センター形成外科 野村 正
 グリーンウッドスキンクリニック立川 青木 律
 福島県立医科大学形成外科 梶川 明義
 KKR 札幌医療センター斗南病院形成外科 佐々木 了
 東海大学形成外科 宮坂 宗男
 大阪大学病態病理学 森井 英一
 大阪大学放射線科 大須賀慶悟

【ガイドラインシンポジウム4】 第3日 4月9日（金）

『乳房再建』

司会 大阪大学形成外科 細川 亙
福岡大学形成外科 大慈弥裕之
東京女子医科大学東医療センター形成外科
本田 隆司
大阪大学形成外科 矢野 健二
獨協医科大学形成外科 朝戸 裕貴
東北大学形成外科 館 正弘
近畿大学形成外科 磯貝 典孝

【社会保険委員会報告】

第2日 4月8日（木）

司会 せきぐちクリニック 関口 順輔
東京慈恵会医科大学形成外科 内田 満
『形成外科領域における診療報酬の改定』
報告者 千葉県こども病院形成外科 宇田川晃一
東邦大学医療センター大橋病院形成外科 大西 清

(2) 第19回日本形成外科学会基礎学術集会

会期：平成22年9月16日（木）、17日（金）

会場：パシフィコ横浜（神奈川）

会長：鳥飼 勝行 横浜市立大学形成外科

下記の会長講演、海外招待講演、特別講演、主題シンポジウム、シンポジウム、教育シンポジウム、ガイドラインシンポジウムが行われた。

【会長講演】

第1日 9月16日（木）

司会 金沢医科大学形成外科 川上 重彦
『私の臨床を支えた Basic Science』
横浜市立大学形成外科 鳥飼 勝行

【海外招待講演Ⅰ】

第1日 9月16日（木）

司会 長崎大学形成外科 平野 明喜
1) 『Encephalocoeles-classification and approach based on 150 cases』
2) 『Plastic surgery disease in Africa』

Anil Madaree
Professor of Plastic Surgery Nelson R Mandela School of Medicine
University of KwaZulu Natal, South Africa

【海外招待講演Ⅱ】

第2日 9月17日（金）

司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫
『Cultured epidermal autografting - optimizing success』

Rajiv Sood
Professor of Plastic Surgery, Indiana University School of Medicine
Indiana University, Indiana USA

【特別講演】 第2日 9月17日(金)
 司会 東京医科大学形成外科 渡辺 克益
 『幹細胞研究の形成外科領域への応用』
 横浜市立大学臓器再生医学 谷口 英樹

【主題シンポジウム】 第2日 9月17日(金)
 『臨床に役立つ日本の形成外科基礎研究戦略』
 司会 杏林大学形成外科・美容外科 波利井清紀
 近畿大学形成外科 磯貝 典孝

- MS-1 リンパ系を標的としたドラッグデリバリーシステムの開発
 北海道大学形成外科 古川 洋志
- MS-2 工学と形成外科の融和による新研究領域の展開ー「形成工学」の開発
 慶應義塾大学形成外科 永竿 智久
- MS-3 Super Microsurgery と他科領域との異分野連携研究
 ～新しい移植モデルの開発と基礎研究～
 東京大学形成外科・美容外科 三原 誠
- MS-4 発生学を基盤とした先天異常疾患に対するアプローチ
 大阪大学形成外科 坂井 靖夫
- MS-5 再生医療研究におけるレギュラトリーサイエンス
 東京大学顎口腔外科・歯科矯正歯科、
 ティッシュエンジニアリング部 高戸 毅
- MS-6 形成外科臨床医にとっての基礎研究展開戦略について
 獨協医科大学形成外科 朝戸 裕貴

【シンポジウムⅠ】 第1日 9月16日(木)
 『外見美の基礎医学と臨床』
 司会 健貢会東京病院形成外科・美容外科センター長
 昭和大学名誉教授 保阪 善昭
 北里大学形成外科・美容外科 櫻井 裕之

- SI-1 美容医療における術前後の評価法
 大阪大学形成外科学美容医療学寄附講座 高田 章好
- SI-2 顔面の対称性と外見美：
 リバース・エンジニアリングを用いた軟部組織欠損の定量評価
 慶應義塾大学形成外科 宮本 純平
- SI-3 形成外科における正常化と外見美とアイデンティティ
 Normalization, attractiveness and
 identity in the field of facial plastic surgery
 自治医科大学形成外科 菅原 康志
- SI-4 顔の美と魅力の理論と臨床応用
 クリニック宇津木流 宇津木龍一

【シンポジウムⅡ】 第1日 9月16日(木)
 『毛髪再生医療の展望』
 司会 神戸大学形成外科 寺師 浩人
 東京メモリアルクリニック・クリニック平山 佐藤 明男

- SII-1 毛包再生治療の実現に向けた戦略と研究の展開
東京理科大学・総合研究機構 辻 孝
- SII-2 培養細胞移植による毛包再生：移植法および培養法の最適化にむけて
東京大学形成外科・美容外科 青井 則之
- SII-3 毛髪再生医療実現に向けての技術的課題とその克服
株式会社フェニックスバイオ 吉里 勝利
- SII-4 脱毛症診療ガイドライン-Next Stage
大阪大学皮膚・毛髪再生医学寄附講座 板見 智

【シンポジウムⅢ】 第1日 9月16日(木)

『創傷外科の将来展望』

司会 東京女子医科大学 名誉教授 野崎 幹弘
福岡大学形成外科 大慈弥裕之

- SIII-1 創傷外科医が探求する創傷治癒・難治性潰瘍の病態
北海道大学形成外科 小浦場祥夫
- SIII-2 バイオフィルム慢性創傷モデルの樹立：慢性創傷の病態解明に向けて
福岡大学形成外科 牧野 太郎
- SIII-3 創傷の細胞治療の将来展望
東京女子医科大学形成外科 副島 一孝
- SIII-4 足の創傷外科の将来展望
佐賀大学形成外科 上村 哲司
- SIII-5 創傷外科に求められる将来戦略
埼玉医科大学形成外科 市岡 滋

【シンポジウムⅣ】 第2日 9月17日(金)

『皮弁の Basic Science』

司会 徳島大学形成外科・美容外科 中西 秀樹
岡山大学形成再建外科 木股 敬裕

- SIV-1 皮膚・皮下組織の血管解剖に基づく
皮弁の vascular territory と生着範囲
埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 三鍋 俊春
- SIV-2 虚血再灌流障害皮弁モデルによる研究
昭和大学形成外科 土佐 泰祥
- SIV-3 遊離皮弁還流静脈血のガス分析による皮弁代謝の研究
東京女子医科大学形成外科 猪原 康司
- SIV-4 経皮二酸化炭素分圧による皮弁循環不全のモニター方法
徳島大学形成外科 橋本 一郎
- SIV-5 薄い皮弁の Basic Science
-皮弁の常識が必ずしも通らないという結論に達するまでの軌跡
日本医科大学形成外科・美容外科 百東 比古
- SIV-6 穿通枝皮弁の新知見：(超)微小解剖の応用
東京大学形成外科・美容外科 光嶋 勲

【教育シンポジウムⅠ】 第1日 9月16日(木)

『各組織の創傷治癒と移植・再生 ～骨・骨膜・軟骨・軟骨膜～』

司会 久留米大学形成外科・顎顔面外科 清川 兼輔
大阪医科大学形成外科 上田 晃一

- E-1 骨の修復・再建・再生について
関西医科大学形成外科 楠本 健司
- E-2 骨膜の骨形成能に関する基礎と臨床
東京大学顎口腔外科・歯科矯正歯科 高戸 毅
- E-3 再考：軟骨の生理と機能
～移植軟骨はバイオマテリアルで代替可能か～
船橋ゆーかりクリニック 寺田 伸一
- E-4 軟骨膜の基礎的臨床的意義について
札幌医科大学形成外科 四ッ柳高敏

【教育シンポジウムⅡ】 第1日 9月16日(木)

『各組織の創傷治癒と移植・再生

～抹消神経1・末梢神経2・血管・リンパ管～』

司会 新潟大学形成外科 柴田 実
北海道大学形成外科 山本 有平

- E-5 抹消神経の移植再生：
神経の微小血行と軸索内輸送に基づく神経弁移植法の開発
東京大学形成外科・美容外科 光嶋 勲
- E-6 神経移植と端側神経縫合：各種の端側神経縫合ならびに
複数の neural source 利用に向けての神経移植、再建法について
大阪大学形成外科 松田 健
- E-7 血管の創傷治癒・移植・再生
KKR 札幌医療センター斗南病院形成外科・
血管腫・血管奇形センター 佐々木 了
- E-8 リンパ管に関する基礎研究手法の変遷
須網 博夫
Department of Plastic Surgery, The University of Texas
M. D. Anderson Cancer Center, Houston, TX, USA

【教育シンポジウムⅢ】 第2日 9月17日(金)

『各組織の創傷治癒と移植・再生 ～脂肪1・腱・筋膜～』

司会 藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子
東京慈恵会医科大学形成外科 内村 満

- E-9 脂肪細胞の移植再生
東京大学形成外科・美容外科 吉村浩太郎
- E-10 腱の創傷治癒 ～走査電子顕微鏡を用いた観察から～
筑波大学形成外科 佐々木 薫
- E-11 組織移植における筋膜腱膜などの働きに関する検証
－血管網を有する筋膜腱膜は組織移植時に移植片周囲に残すべきか否か－
信州大学形成再建外科 杠 俊介

【教育シンポジウムⅣ】 第2日 9月17日(金)

『各組織の創傷治癒と移植・再生

～表皮・真皮・粘膜・脂肪2・毛細血管～』

司会 埼玉医科大学形成外科 中塚 貴志
東京医科大学形成外科 松村 一

- E-12 表皮の構造と形態
慶應義塾大学形成外科 貴志 和生
- E-13 真皮の創傷治癒と再生ー正常と異常ーマトリックスを中心にして
京都大学形成外科 鈴木 茂彦
- E-14 真皮と粘膜
神戸大学形成外科 寺師 浩人
- E-15 脂肪組織の創傷治癒・組織再構築のメカニズム
東京大学形成外科・美容外科 鳥山 和宏
- E-16 皮膚・皮下組織に対する血管再生治療の現状
東海大学形成外科 田中 里佳

【ガイドラインシンポジウム】 第1日 9月16日(木)

司会 日本医科大学形成外科・美容外科 細川 亙
長崎大学形成外科 秋田 定伯

『ケロイド・肥厚性瘢痕・露出部位の瘢痕』

日本医科大学形成外科・美容外科 小川 令
大阪大学形成外科 菊池 守
慶應義塾大学形成外科 貴志 和生

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第30巻 2号	平成22年 2月	54頁	4, 450部
第30巻 3号	平成22年 3月	49頁	4, 450部
第30巻 4号	平成22年 4月	67頁	4, 450部
第30巻 5号	平成22年 5月	53頁	4, 450部
第30巻 6号	平成22年 6月	70頁	4, 450部
第30巻 7号	平成22年 7月	49頁	4, 450部
第30巻 8号	平成22年 8月	59頁	4, 460部
第30巻 9号	平成22年 9月	69頁	4, 470部
第30巻10号	平成22年10月	64頁	4, 470部
第30巻11号	平成22年11月	75頁	4, 470部
第30巻12号	平成22年12月	79頁	4, 480部
第31巻 1号	平成23年 1月	71頁	4, 470部

(4) Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery を発行した。

第43巻 6号	平成22年 5月	56頁	4, 150部
(上記 Scandinavian Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery)			
第44巻 1号	平成22年 6月	69頁	1, 900部
第44巻 2号	平成22年 7月	54頁	1, 900部
第44巻 3号	平成22年 8月	55頁	1, 900部

(5) 春季学術講習会及び秋季学術講習会を下記のとおり開催した。

1. 春季学術講習会

日 時；平成22年4月6日(火)午後1時00分～午後5時15分

会 場；ホテル日航金沢 4F『鶴の間』

テーマ1；腫瘍

題目および講師

- | | | |
|------------------------|------------|-------|
| 1) 皮膚腫瘍(悪性黒色腫)の診断と治療 | 浜松医科大学形成外科 | 深水 秀一 |
| 2) 皮膚腫瘍(悪性黒色腫以外)の診断と治療 | 函館中央病院形成外科 | 木村 中 |
| 3) 頭頸部腫瘍切除後の再建 | 神戸大学形成外科 | 橋川 和信 |
| 4) 四肢腫瘍切除後の再建 | 癌研有明病院形成外科 | 澤泉 雅之 |

テーマ2；医療安全

- | | | |
|-------------------------|----------------------|-------|
| 5) 医療事故の初期対応と医療メディエーション | 金沢医科大学脳神経外科教授 | |
| | 金沢医科大学病院医療安全対策委員会委員長 | |
| | 金沢医科大学病院病院長 | 長尾 二郎 |

2. 秋季学術講習会

日 時；平成22年9月15日(水)午後12時30分～午後4時45分

会 場；パシフィコ横浜 3F『301+302』

テーマ1；医療安全

題目および講師

- | | | |
|----------------------|------------------------|-------|
| 1) 医療安全管理室 ～最近の活動状況～ | 横浜市立大学附属市民総合医療センター副病院長 | |
| | 兼 泌尿器・腎移植科教授 | 野口 和美 |

テーマ2；癬痕・癬痕拘縮・ケロイド

- | | | |
|-------------------------|--------------|-------|
| 2) 創傷治癒の癬痕・ケロイド・肥厚性癬痕総論 | 慶應義塾大学形成外科 | 貴志 和生 |
| 3) 肥厚性癬痕・ケロイドの治療法 | 京都大学形成外科 | 山脇 聖子 |
| 4) 癬痕・癬痕拘縮の治療法(頭頸部・顔面) | 東京女子医科大学形成外科 | 櫻井 裕之 |
| 5) 癬痕・癬痕拘縮の治療法(四肢・体幹) | 長崎大学形成外科 | 田中 克己 |

(6) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

平成22年度専門医合格者氏名(受付順敬称略)

堀切 将	新保 慶輔	山本 知恵	峯岸 季清	岩井 謙治
岩谷 博篤	鷺見 友紀	根本 仁	安倍 徳寿	石山誠一郎
近藤 謙司	松本久美子	上中 麻希	安倍 弥生	七戸 龍司
松永 吉真	福井季代子	内田 悦弘	岩井 麻希	大森見布江

渡邊 理子	上野 紫穂	矢野志津枝	鴻池奈津子	橋川 正利
小野田 聡	中原 麻理	中西 美紗	西堀 真依	樋野 忠司
篠田 大介	飯塚 文子	勝部 元紀	曾束 洋平	池上みのり
中西 新	原口 和也	川浪 和子	門田 聡	照喜納光信
増田 佳奈	池田 正起	森 大祐	菱山 潤二	飯島 由貴
大野健太郎	土井 悠人	増田 鋼治	新美 裕太	酒井 邦夫
矢澤 智博	門平 充弘	杉野まり子	中村奈美樹	新美 陽介
田中 伸子	河野 鮎子	倉地 功	五来 克也	梅川 浩平
井上 牧子	河之口大輔	森 廣政	峯田 一秀	大野 義幸
大崎 健夫	妻野 知子	土屋 裕人	中島 拓人	沖 正直
土屋 沙緒	三倉 文子	永島 和貴	牧野陽二郎	岩倉 敬
村上千佳子	内川裕美子	中村 和人	石谷 幸子	朴 圭一
石川 勝也	田口 久雄	塚原 真吾	井田夕紀子	佐藤 孝道
宮下 宏紀	岡村 愛	小原 英里	名取 悠平	澁谷 暢人
市堀 涼子	峯岸 芳樹	佐藤 智也	赤澤 聡	大崎 陽子
水口 敬	藤本 雅史	杉野 博崇	河内 司	錦織 なぎ
中谷 浩子	藤高 淳平	川上 善久	笠井 昭吾	兵田 優美
武川 力	寺瀬 佳苗	伴 碧	原 裕太	東野 琢也
佐野 成一	齊藤真喜子	岸本 英明	長谷川雅弘	松井 貴浩
木矢孝一郎	西井 洋一	仙崎 雄一	天方 将人	篠原 秀勝
榊原 俊介	柳沢 曜	田中 誠児	堀口 雅敏	加藤晴之輔
芝岡 美枝	鮑 智伸	中屋敷典久	山本 康弘	高橋 宏実
江尻 浩隆	古元 将和	桂木 容子	山口 健一	栗原 幸司
渡邊 英孝	今野 恵理	岩城 佳子	増本 和之	
松原真依子	國井 健太	細野 味里	右田 尚	

合計 143名 (応募者 209名)

(7) 日本形成外科学会認定施設の審査を認定施設認定委員会において行った。

平成23年度新認定施設名

【地 区】	【施 設 名】	【登録番号】
東 北	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	形成外科 11-2031-000
関 東	東京西徳洲会病院 形成外科	11-3121-000
	新潟市民病院 形成外科	11-3122-000
	松戸市立病院 形成外科	11-3123-000
	大田原赤十字病院 形成外科	11-3124-000
	東名厚木病院 形成外科	11-3125-000
	相模原協同病院 形成外科	11-3126-000
	同愛記念病院 形成外科	11-3127-000
	埼玉医科大学国際医療センター 形成外科	11-3128-000
	国立がん研究センター中央・東病院 形成外科	11-3129-000
	日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	形成外科 11-3130-000
	埼玉県立小児医療センター 形成外科	11-3131-000
中 部	沼津市立病院 形成外科	11-5077-000

		焼津市立総合病院 形成外科	11-5078-000
		静岡県立静岡がんセンター 再建形成外科	11-5079-000
		岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科・形成外科	11-5080-000
		小牧市民病院 形成外科	11-5081-000
関	西	兵庫県立加古川医療センター 形成外科	11-6083-000
		三田市民病院 形成外科	11-6084-000
		箕面市立病院 形成外科	11-6085-000
中	四	住友別子病院 形成外科	11-7041-000
		山口県済生会下関総合病院 形成外科	11-7042-000
九	州	福岡山王病院 形成外科	11-8062-000
		社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 形成外科	11-8063-000

(8) 日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A) 平成23年度専門医更新者氏名(順不同敬称略)

土肥 千里	野網 淳	栗山 元根	稲次 圭	徳田真紀子
小山 菊雄	沼尻 敏明	芳賀 康史	辻 泰美	中島 透
上石 弘	大竹登志江	境 隆博	佐久間 恒	高橋 範夫
坂東 正士	岡田 厚夫	山下 建	岩垂 鈴香	有馬 裕子
藤野 豊美	田路めぐみ	春日 麗	富士森英之	大場真由子
二宮 文乃	田辺 毅	天海 恵子	佐々木健志	鄭 栄凰
西條 正城	鳥谷部荘八	徳永 和代	堀江 和幸	澤田 彰史
久保 盾貴	青木 良子	大河内真之	三苦 葉子	萩家 康弘
小山 久夫	三木 啓稔	柏木 慎也	内田日奈子	江藤ひとみ
江 本栄	辻 直子	今井龍太郎	川端 明子	工藤 英樹
原田 伸	杉田 直哉	浜田 裕一	黒田 聖子	青柳 和也
中島 英親	宮里 裕	飯田 拓也	小林 正大	大谷 博
千々和 剛	原 理子	山中 健生	安田 吉宏	荻野 晶弘
白武 靖久	守本 圭希	佐野 法久	岩坂 督	佐藤 良康
片上佐和子	山本 将之	南部 正樹	井原 望	藤村 大樹
池田 博生	石川 博彦	大村 愉己	高橋 国宏	諸富 公昭
長尾 美樹	森 雄大	菰田 拓之	吉川嘉一郎	山口 悟
松岡 京子	日原 正勝	江良 幸三	柳 英之	藤井海和子
上 敏明	小室 明人	奥村 仁	辻 依子	大木 琴美
久保田賢子	大安 剛裕	山本 真弓	櫻井 敦	藤本 卓也
楠瀬 恵	齋藤 典子	内藤 崇	杉本 庸	萬木 聡
西村 雅美	神崎 温子	大場 教弘	泉 憲	齊藤 晋
若松 慶太	田中 一郎	小澤 俊幸	島田 卓治	大石 正雄
堀内 勝己	高地 崇	辻 晋作	松井 雪子	高瀬 真記
田邊 雅祥	武本 啓	千明 信一	福田奈津恵	坂 いづみ
卞 勝人	兵藤伊久夫	馬場 香子	柴田 健了	工藤 信
小松 磨史	大澤 昌之	古賀祐季子	吉本 浩	加藤 愛子
加藤 正也	齋藤 亮	池田 実香	石井 直弘	奥村 興
小川 智子	加藤 浩康	幸島 究	戎谷 昭吾	楠原 廣久

谷口 由紀	多田 宏行	檜垣 仁志	葛西健一郎	中山 貴裕
蔡 顯真	内田 龍志	佐々木 了	矢野 基	日下部素子
清水 雄介	見目 和崇	吉岡 伸高	松下 哲也	前多 一彦
辻 隆治	大内 邦枝	北吉 光	太田 茂男	野嶋 公博
中澤 学	佐々木京子	菅原 康志	峯 龍太郎	篠原 洋
安田 順子	小島 正嗣	土佐 泰祥	古川 洋志	野田弘二郎
酒井 敦子	浅見 謙二	藤岡 浩賢	西田 匡伸	寺尾 保信
石田 勝大	木村 良三	古田 淳	吉田 浩子	根本 充
浅野 隆之	加藤 一	林 明照	林 和弘	村田 宏爾
林 俊子	鬼塚 圭子	吉井 満寛	林原 伸治	増田 禎一
古賀 憲幸	北野 新弓	梶川 浩	太田 正佳	佐藤 織絵
新明 康宏	前川 二郎	櫻井 裕之	内田 崇之	斎藤 有
多田 英行	田中 嘉雄	吉川 秀昭	清水 調	鳥山 和宏
黒岡 定浩	熊本 芳彦	海江田一也	宮脇 剛司	井口 聖一
内山 英祐	磯貝 典孝	垣淵 正男	川勝 基久	成 耆徹
吉川 勝宇	山田 直人	長谷川守正	南條 昭雄	青木 久尚
西川 雄希	志田山了一	大野 由実	青木 一浩	渡辺 規光
本間 豊大	佐藤 史郎	石井 通雄	関谷 秀一	塙 陽子
内谷 栄一	寺師 浩人	飯尾 礼美	工藤 聡	森田 尚樹
大和 義幸	多久嶋亮彦	村住 昌彦	杉原 司	梅本 泰孝
真柴 久実	大原 鐘敏	鈴木 義久	真田 武彦	小林 眞司
文元 裕道	野元 清子	小林 公一	浅井真太郎	上野 孝
大原 博敏	渡邊 芳子	大口 春雄	澤邊 一馬	飯田 秀夫
宮下 松樹	青 雅一	福西 健至	山本 直人	中川 浩志
池野屋慎太郎	福本 恵三	飯田 剛	松井 瑞子	大塚 靖
清野 広人	吉田 明広	瀬崎晃一郎	清家 卓也	桑江 克樹
風戸 孝夫	加曾利要介	坂村 律生	柏崎 喜宣	有川 公三
和田 邦生	鈴木 啓之	林 雅之	浅野 武雄	升岡 健
大西 文夫	二ノ宮邦稔	大門 路子	佐野 和史	落合 博子
矢野 志春	三鍋 俊春	小室 裕造	浅野 裕子	井上 義治
廣田龍一郎	中原 実	木股 完仁	鄭 憲	篠田 明彦

以上300名（申請者377名）

B) 日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則第11条並びに専門医制度細則第29条第4項により専門医資格を取り消される者

三浦 洋靖

(9) 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医の審査を皮膚腫瘍外科指導専門医認定委員会において行った。

平成22年度皮膚腫瘍外科指導専門医合格者氏名（五十音順）

相原 英雄	青木 律	秋岡 二郎	浅井真太郎	浅野 裕子
相原 正記	青山 亮介	秋田 定伯	朝蔭 洋子	浅見 謙二
青 雅一	赤井 秀実	秋月 種高	浅田 裕司	阿部浩一郎
青木 一浩	赤松 順	秋元 正宇	朝戸 裕貴	阿部 清秀
青木 久尚	赤松 正	秋山 太	浅野 武雄	阿部 直樹

天野	照仁	上村	哲司	置塩	良政	菊池	守	小林	公一
新井	眞樹	植村	富美子	荻野	浩希	菊池	雄二	小林	眞司
新城	憲	宇佐	美泰	奥田	裕章	岸	陽子	小林	誠一郎
有川	公三	内田	崇之	奥田	良三	岸邊	美幸	小宗	弘幸
安藤	和正	内田	満	奥村	慶之	喜多	孝志	小屋	裕造
安楽	邦明	内田	玲	奥本	和生	北澤	健	小屋	和子
飯田	直成	内沼	栄樹	奥本	隆行	北野	新弓	権太	浩一
井川	浩晴	梅田	整	小倉	猛	北村	孝	近藤	加代子
井口	聖一	梅田	直人	小椋	哲実	北吉	光	近藤	昭二
池田	和隆	江頭	通弘	小落	博子	木下	行洋	近藤	方彰
井砂	司	江口	智明	小野	一郎	木下	賀雄	今野	みどり
石井	通雄	江崎	茂	小山	明彦	木股	完仁	今野	宗昭
石井	義輝	江副	京理	加王	文祥	木股	敬裕	最所	裕司
石垣	剛正	江藤	久志	垣淵	正男	木村	正中	斎藤	篤志
石川	浩三	大井	克之	葛西	健一郎	木村	直弘	斎藤	昌美
石川	修一	大木	更一郎	梶	彰吾	木村	得尚	斎藤	典道
石倉	直敬	大久保	文雄	梶	ひろみ	木村	裕明	佐伯	重信
石黒	匡史	大島	淑夫	梶川	明義	木村	良三	坂井	成身
石田	有宏	大慈	弥裕	柏	克彦	木村	茂雄	酒井	倫明
石原	剛	太田	栄一	柏	尚裕	久徳	兼輔	酒井	靖夫
磯野	伸雄	太田	勝哉	片岡	英雄	清川	智晴	坂井	修平
市岡	滋	太田	茂男	片平	次郎	清澤	成基	坂村	律生
市野	直樹	大竹	尚之	勝又	肇	権	英雄	櫻井	淳
一瀬	正治	大谷	和雄	加藤	武男	久島	彰	櫻井	伴子
伊藤	理	大塚	尚治	加藤	友紀	楠見	健司	櫻井	信彰
伊藤	文人	大塚	壽	加藤	一	楠本	聡	櫻井	裕之
伊東	優	大塚	守正	加藤	久和	工藤	潤一郎	桜庭	実
伊藤	芳憲	大塚	靖	加藤	香一	久保田	憲夫	佐々木	了
稲川	喜一	大槻	眞澄	門松	信忠	熊谷	芳彦	佐々木	雄史
伊波	博雄	大西	清	嘉鳥	浩之	熊本	荘太郎	笹本	良信
犬塚	潔	大野	由実	金澤	憲治	倉田	英治	佐瀬	明男
井上	邦雄	大場	創介	金原	岳夫	倉富	卓也	佐藤	兼重
井上	健夫	大原	鐘敏	金子	剛	栗原	正人	佐藤	史郎
井上	要二郎	大宮	由香	金子	裕一	黒川	知明	佐藤	俊昭
今井	章仁	大村	勇二	金子	淑人	黒木	望	佐藤	英明
今井	啓介	大谷	津恭	上林	讓	黒住	克樹	佐藤	和史
今泉	敏史	岡	博昭	亀井	克彦	桑江	広昌	佐藤	一郎
今西	宣晶	岡崎	睦	亀渕	勝也	桑原	理充	佐野	慶
岩崎	秀樹	岡田	恵美	河合	佳子	桑原	裕則	佐原	雅之
岩澤	幹直	緒方	茂寛	河合	基久	郡司	章	澤田	正樹
岩田	浩嗣	岡田	忠彦	川勝	重彦	毛山	勲	澤田	潤一郎
岩波	正陽	緒方	寿夫	川上	邦裕	光嶋	康巳	志賀	定之
岩平	佳子	岡部	行哉	川嶋	岳志	黄金	一郎	茂木	岳雄
宇井	謙二	岡村	俊弘	川那部	進	國分	正明	重原	明彦
上田	和毅	岡本	年泰	河村	潔	小坂	喜久夫	篠田	裕達
上田	晃一	岡本	直靖	川本	達也	小蘭	孝浩	柴田	実
上野	輝夫	岡山	豊	木内	二郎	後藤	一夫	柴田	康人
上野		小川		菊池		小林		島倉	

島田賢一	多武石	久嶋美紀	長江浩朗	蓮見俊彰	藤盛成裕
清水調	竹市明精	武石夢二	中岡啓喜	長谷川隆	富士森良輔
清水隆司	竹内章晃	竹内正樹	中川宏治	長谷川時生	藤原健志
下田勝巳	竹内正樹	竹下由美子	中川達裕	長谷川守正	舟山惠美
下間由子	武田啓	武田昇	中川浩志	長谷田泰男	古川洋志
庄野孝	武田昇	竹野巨一	中川雅裕	畑壽太郎	古川雅英
白石直人	武田昇	太宰聖志	永竿智久	嶋真也	古川元祥
白土基次	竹野巨一	田崎幸博	仲沢弘明	羽多野隆治	古田淳
新富芳尚	太宰聖志	田崎英之	永瀬和彦	波床光男	朴修三
陣内卓雄	田崎英之	多田正弘	中塚貴志	浜口雅光	保阪善昭
新橋武夫	館下亨	館下丈嗣	中西秀樹	浜島昭人	星光聡
神保好代子	田所一郎	田中祝	中林伸之	濱中孝臣	細川茂
新家佳弘	田中祝	田中克己	中原実	林和弘	堀直博
菅野之章	田中克己	田中伸二	中村雄幸	林淳也	堀内勝己
菅又章司	田中伸二	田中達典	中山貴裕	林利彦	本庄省五
杉本一	田中伸二	田中保	中山凱夫	林洋司	本田隆司
杉本陽子	田中伸二	田中直樹	夏井裕明	林雅裕	本多朋仁
鈴木健司	田中伸二	田中嘉雄	並木憲	林雅之	本間賢一
鈴木茂彦	田中伸二	田中敦子	南條昭雄	林祐司	前川二郎
鈴木敏彦	田中伸二	田中佳枝	難波祐三郎	林れい子	前田健志
鈴木昌秀	田中伸二	谷口康稔	丹生淳史	林原伸治	前田求健
鈴木康俊	田中伸二	月野暁彦	西関健一	原口浩史	升岡源造
鈴木義久	田中伸二	辻口幸之助	西卷啓子	原田政雄	増沢禎一
鈴木芳郎	田中伸二	土屋裕一	西村篤三	坂東行洋	増田瑞子
鈴木徳芳	田中伸二	堤田純二	西村剛三	檜垣仁志	松井慎太郎
角谷卓也	田中伸二	寺内雅美	西村正樹	日笠壽	松浦慎太郎
清家充	田中伸二	寺尾保信	西本聡	樋口浩文	松尾恭一
関堂秀一	土屋裕一	寺師浩人	二ノ宮邦稔	樋口良平	松下哲也
関谷晃一郎	堤田純二	寺田伸一	沼尻敏明	菱田雅之	松田和美
瀬崎卓矢	寺内雅美	土井秀明	野口昌彦	百束雄一	松田芳章
惣角孝	寺尾保信	時岡幸	野崎忍	平野明喜	松村一
副島周吾	寺師浩人	土佐眞美子	野崎幹弘	平林慎一	松本吉郎
添田文二	寺田伸一	戸佐眞弓	野嶋公博	平山峻	丸山優
袖井清昭	土井秀明	戸佐泰祥	野瀬京子	深井孝郎	水上健之亮
曾根雅宏	時岡幸	戸島康晴	野瀬謙介	深水秀一	水野博司
征矢野進一	土佐眞美子	戸田千綾	野田弘二郎	福積聡	三川信之
成耆徹	戸佐眞弓	利根川守	野平久仁彦	福西健至	三橋清
高木正	戸島康晴	鳥居博子	野村智史	福屋安彦	水戸部知代
高瀬税	戸田千綾	鳥山和宏	野村正	藤井勝善	皆川英彦
高田章好	利根川守	内藤浩	野元清子	藤井暁	湊祐廣
高田徹	鳥居博子		野本猛美	藤岡浩賢	三鍋俊春
高野淳治	鳥山和宏		芳賀盛	藤岡正樹	峯龍太郎
高橋信行	内藤浩		橋本一郎	藤川昌和	宮坂宗男
高橋元			橋本二朗	藤田龍哉	宮田成章
高橋美有			橋本裕之	藤本卓也	
滝建志					
多久嶋亮彦					

宮田 昌幸	森 浩	山崎 明久	杠 俊介	吉村 陽子
宮永 章一	森岡 康祐	山崎民千明	横井 克憲	吉本 信也
宮本 博子	森田 尚樹	山崎 民雅	横内 哲博	義本 裕次
宮本 義洋	森田 礼時	山下 理絵	横尾 和久	四ツ柳高敏
宮脇 剛司	森本 尚樹	山田 直人	横田 和典	米田 敬
三好 宏	藁丸 洋秋	山野 雅弘	横山統一郎	米原 啓之
迎 伸彦	矢島 和宜	山本 達	吉井 満寛	力丸 英明
向田 雅司	安田 浩	山本 直人	吉岡 伸高	若松 信吾
村井 繁廣	矢高 森人	山本 博	吉方 りえ	若見 暁樹
村岡 道德	矢永 博子	山本 正樹	吉川 厚重	脇田 進一
村上富美子	柳澤 明宏	山本 光宏	吉川 哲哉	渡辺 克益
村上 正洋	矢野 健二	山本 稔	吉澤 直樹	渡邊 彰二
村上 隆一	矢野 基	山本 有祐	吉田 哲憲	渡辺 規光
村下 一晃	矢部 哲司	山本 有平	吉田 浩子	渡邊 芳子
村下 理	山内 俊彦	山本 慶輝	吉田 益喜	
村住 昌彦	八卷 隆	山本 喜英	吉龍 澄子	
牟禮 理加	山口 明伸	山脇 聖子	吉永裕一郎	
元村 尚嗣	山口 貴嗣	山脇 吉朗	吉村浩太郎	

以上591名

(10) 平成23年度評議員選挙を行った。

平成23年度評議員選挙管理委員会

委員長：今井龍太郎

副委員長：林 淳也

委員：阿藤 晃一 石川 心介 磯野 伸雄 鈴木 康俊
田中 里佳 長西 裕樹 山岡 尚世

予備委員：内田源太郎 大木更一郎 高橋 範夫 林 礼人

計5回の委員会を開催し、定款並びに評議員選挙施行細則に基づき選挙を行った。
開票の結果、下記150名の新評議員を決定した。

【北海道・東北支部（定数14名）】

阿部 清秀	飯田 直成	今井 啓道	上田 和毅	柏 克彦
木村 中	小林誠一郎	館 正弘	野平久仁彦	福屋 安彦
山本 有平	横井 克憲	吉田 哲憲	四ツ柳高敏	

【関東支部（定数66名）】

相原 正記	赤松 正	秋月 種高	秋元 正宇	朝戸 裕貴
井砂 司	市岡 滋	伊藤 芳憲	岩波 正陽	岩平 佳子
宇田川晃一	内田 満	内沼 栄樹	岡崎 睦	小川 令
大久保文雄	大城 貴史	大竹 尚之	大西 清	荻野 浩希
金子 剛	菊池 雄二	貴志 和生	清澤 智晴	熊谷 憲夫
倉片 優	光嶋 勲	小室 裕造	櫻井 裕之	佐藤 兼重
柴田 実	島倉 康人	清水 祐紀	菅原 康志	角谷 徳芳
関堂 充	竹内 正樹	多久嶋亮彦	武田 啓	田中 一郎

土佐 泰祥	永竿 智久	仲沢 弘明	中塚 貴志	二ノ宮邦稔
根本 充	百束 比古	平林 慎一	福積 聡	福本 恵三
本田 隆司	前川 二郎	松浦慎太郎	松村 一	丸山 優
水野 博司	三川 信之	三鍋 俊春	宮坂 宗男	宮脇 剛司
村上 正洋	山崎 明久	横山 才也	吉村浩太郎	吉本 信也
渡辺 克益				

【中部支部（定数16名）】

浅井真太郎	岩澤 幹直	亀井 讓	川上 重彦	岸邊 美幸
島田 賢一	鳥山 和宏	中束 和彦	中西 雄二	深水 秀一
松尾 清	山元 康德	杠 俊介	横尾 和久	吉村 陽子
米田 敬				

【関西支部（定数26名）】

朝村 真一	石川 浩三	磯貝 典孝	今井 啓介	上田 晃一
岡田 雅	垣淵 正男	葛西健一郎	河合 勝也	楠本 健司
桑原 理充	坂井 靖夫	鈴木 健司	鈴木 茂彦	高田 章好
田原 真也	土井 秀明	内藤 浩	内藤 素子	西野 健一
西本 聡	橋川 和信	細川 互	元村 尚嗣	矢野 健二
吉岡 伸高				

【中国・四国支部（定数12名）】

稲川 喜一	岡 博昭	木股 敬裕	木村 得尚	毛山 章
小林 一夫	田中 嘉雄	中岡 啓喜	中西 秀樹	難波祐三郎
橋本 一郎	横田 和典			

【九州支部（定数16名）】

秋田 定伯	石田 有宏	石原 剛	井上要二郎	上村 哲司
大慈弥裕之	清川 兼輔	小菌喜久夫	高木 誠司	田中 克己
平野 明喜	迎 伸彦	森岡 康祐	矢野 浩規	吉川 厚重
力丸 英明				

(11) 各種委員会報告

1) 財務委員会

委員長：中塚 貴志

委員：川上 重彦、平林 慎一、細川 亙、丸山 優

開催年月日：メール委員会

主な議題：1. 平成22年度収支決算
2. 平成23年度予算案について

活動の概要：1. 平成22年度収支決算、平成23年度予算案について確認を行った。

2) 専門医認定委員会

委員長：鈴木 茂彦

担当理事：中塚 貴志

委員：秋元 正宇、井砂 司、上田 和毅、内沼 栄樹、大西 清
亀井 譲、小坂 正明、多久嶋亮彦、館 正弘、田中 一郎
田中 嘉雄、寺師 浩人、土佐 泰祥、平野 明喜、松村 一
三鍋 俊春、吉本 信也

開催年月日：①平成22年4月8日 ②平成22年9月16日

③平成22年11月26・27日 ④平成23年1月20・21・22日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査
2. 専門医認定審査
3. 手引きの改訂
4. その他

活動の概要：1. 平成22年度の専門医申請者数は、少なくとも200名以上に急増することが予想されたので、認定審査書類提出期限を2週間早め、書類審査を2日間、また口頭試問を2日間にわたり行う予定とした。受審者にこれらの変更を早期に伝えるため、平成22年3月号に第一報を会告し、詳細は4月号と5月号に会告した。

2. 専門医申請者209名に対し、平成22年11月26・27日に都市センターホテルにて提出書類による資格審査を行った。

3. 資格審査で不合格、書類不備がありとされた申請者からの弁明、書類追加に対し、メール委員会を開き審査した。

4. 資格審査合格者191名に対し、平成23年1月22日・23日にホテルニューオータニにて筆記試験および口頭試問による審査を行った。

5. 専門医審査申請者：209名
資格（書類）審査不合格者：18名
筆記・口答試験不合格者：46名
欠席者：2名

6. 筆記試験問題の一部を問題集から改変し、やや難しくした。前年同様医療問題を1問出題した。また記述式問題を1問出題し、採点には加えないが、口頭試問の際の参考とした。
7. 今回、新研修制度施行後初の専門医認定試験は書類不備（形式上の不備、症例の不備共）が目立ったので、今後の受験者に対し、注意を喚起することとした。（評議員会、総会およびホームページなどを利用する）
8. 手引きの改訂案をまとめホームページに掲載した。

主な改訂点

- ①資格審査（書類審査）不合格者には資格審査料（3万円）を差し引いた審査料を返還する。
- ②術後写真のフォローアップ日数が「6か月以上」と記載されていたのをより明確にするために「180日以上」とした。
- ③10症例を形成外科における優れた技能を示す代表的な症例と規定した。（専門医制度規定第3条）
- ④マイナー症例を平易な手技の症例と定義した。従来は「小さな母斑、腫瘍を切除するような症例」と記載。「瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイドでは簡単な症例は避けてください」という文言もあったが削除。レーザー症例もマイナーとする。

*その他種々の改訂点があります

9. 平成23年度も平成22年度と同様に受診者が多くなると思われるので、認定審査書類提出期間を今年同様、例年よりも2週間程度早め、書類審査日程を2日間確保し、口頭試問も2日間にわたり行う予定とした。受審者には早急に知らせた方がよいので、学会誌平成23年3月号に会告として日程を掲載した。

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：吉村 陽子

委員：阿部 清秀、飯田 直成、岡 博昭、垣淵 正男、河合 勝也
中東 和彦、朴 修三、湊 祐廣、宮坂 宗男

開催年月日：①平成23年2月6日（更新審査委員会）

その他適宜メール委員会

主な議題：1. 専門医資格更新審査

2. 委員会承認の学術集会・研究会の更新審査

3. 学術集会（研究会等）新規登録申請に対する審査

4. 今後の問題点について

活動の概要：1. 専門医資格更新申請の手引きを、メール委員会で確認した。

2. 専門医資格更新審査を行った。

- 1) 専門医資格更新審査の該当者は355名で、更新を承認されたものは288名、書類不備により返却し追加書類などの提出により更新を認めたもの5名、追加書類など提出がなく更新を認めなかったもの2名、留保6名、未提出54名であった。
 - 2) 資格更新点数免除者について
専門医資格更新点数免除の該当者は18名で、更新を承認されたものは7名、未提出11名であった。
 - 3) 留保申請について
留保願いは6件あり、4名は留学、1名は病氣療養、1名は出産育児のため1年の留保が認められた。
 - 4) 締め切り後に書類を提出した5名、参加章を指定の台紙に貼付して提出していない1名、名前のない参加章が含まれていた1名に関しては更新認定と同時に警告を送付した。
3. 委員会承認の学術集会・研究会の更新審査を行った。
- 1) 平成16年(2回目の更新)と平成20年(1回目の更新)に承認されたものについて3年分のプログラム等を確認し、更新を承認した。「日本レーザー医学会」は演題数が不足することは考えられず、更新申請者が形成外科学会員でないことで適切に更新されない可能性があるため、一覧表に入れることとなった。平成23年度から点数を6点とし、会告に掲載することになった。
4. 学術集会(研究会等)新規登録申請に対する審査について
- 1) 学術集会、研究会の新規登録申込が「多摩形成外科症例検討会」「京滋手の外科・末梢神経セミナー」「備後形成外科医会」「東日本手外科研究会」「末梢神経を語る会」「沖縄形成外科研究会」「北海道形成外科フォーラム“北の大地”」「山陰形成外科懇話会」「兵庫県形成外科医会研究会」「旭川手の外科を考える会」「郡山形成外科研究会」「とちぎ形成外科懇話会」と12件あり、承認し、点数を付与した。承認された研究会および点数は会告に掲載予定。
5. 日本美容外科学会の出席点が総会と学術集会で同点であったが、総会とは異なり学術集会は半日くらいの集会であり、同点では高すぎるとの意見が多く、学術集会は3点にする案を理事会に上申し、承認された。
6. 今後の問題点
- 1) 点数が足りているが書類不備であるものが多いため、次回より手引きに申請書類の注意書きをサンプル付きで提示することになった。
 - 2) 診療実績記録について、1日の患者数と手術件数が符合照

合しないなど、明らかに虚偽と考えられるものについては、今後診療内容について問い合わせをする可能性があり、不可とすることもあるとし、専門統括会議で検討することになった。

- 3) 免除者の中には申請用紙のダウンロードができない環境の方もあられると思われるため、次回から診療実績記録を同封することにした。
- 4) 学会出席に疑義が生じた際には、出席カードの提出の有無を確認することがあることを、理事会に上申した。
- 5) 出産・育児・介護に関する留保について、何年まで認めれば良いか今後検討を要する。また、専門医資格を失った後、現在の規則では再度専門医試験を受験するしかないが、専門医資格の復活試験を行っても良いのではないかとの意見があった。

4) 専門医試験問題作成委員会

委員長：佐藤 兼重

委員：宇田川晃一、岡崎 睦、貴志 和生、田中 克己、野平久仁彦
浅井真太郎、大場 創介、緒方 寿夫、柏 克彦、門松 香一
倉片 優、桑原 理充、櫻庭 実、澤泉 雅之、白壁 征夫
堤田 新、西村 剛三、西本 聡、福積 聡、朴 修三
三川 信之、山内 俊彦、若見 暁樹、渡邊 彰二 *下線は分野責任者

開催年月日：平成22年4月7日、9月16日

メール委員会1-2回

活動の内容：平成22年度は21年度作業の継続であった。

- ① 全項目、前問題の問題見直しの確認
- ② 新規問題を48問作成し、何度かの見直しののち、平成23年度試験問題集に追加を行った。

5) 認定施設認定委員会

委員長：丸山 優

委員：朝戸 裕貴、上田 晃一、上村 哲司、小室 裕造、橋本 一郎
横尾 和久、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成22年4月 7日 ②平成22年9月17日

③平成23年2月10日 ④その他メール委員会

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の新規認定と更新認定
2. 疾患データベースの運用状況について
3. その他

活動の概要：1. 認定施設は、新規申請25施設のうち24施設を認定した。
更新は259施設中250施設を認定、5施設を教育関連施設への転換を承認し、4施設を取り消しとした。
教育関連施設は、新規申請22施設のうち21施設を認定、

- 1 施設は教育関連施設美容外科として認定した。教育関連施設美容外科は、新規申請2施設を認定した。更新は173施設中教育関連施設美容外科2件を含む137施設を認定し、22施設を認定施設への転換を承認、1施設を教育関連施設美容外科から教育関連施設への転換を承認、13施設を取り消しとした。
2. 疾患データベースの利用状況は、認定施設では259施設のうち236施設、教育関連施設では173施設のうち149施設より提出があり、9割近い施設より協力が得られた。データベースを利用できなかった施設からは理由書が提出され、次回より提出するなど記載されており、本条件は浸透していると確認した。
3. その他
 - ①平成22年度は例年と同様、紙媒体で年次報告書類を送付した。本年度は郵送とダウンロードの両方で対応する予定である。
 - ②本年度より年間の患者数及び手術件数表が変更され、入院手術、外来手術はそれぞれ「全身麻酔」、「腰麻・伝達麻酔」、「局所麻酔・その他」の項目に分けられているが、そのうちの「その他」には無麻酔や分類不明が含まれている。
係数を計算する際、「入院手術または全麻手術1例を係数1.0、局麻手術1例を係数0.5とした場合・・・」となっているため、これを「入院手術または全麻手術1例を係数1.0、局麻手術その他1例を係数0.5とした場合・・・」に変更する旨上申し、理事会にて承認された。

6) 学 術 委 員 会

委員長：柴田 実

委員：赤松 正、秋田 定伯、石田 有宏、井上要二郎、梶川 明義
柏 克彦、河合 勝也、木村 中、九徳 茂雄、櫻井 裕之
武田 啓、飛澤 泰友、中岡 啓喜、西野 健一、野瀬 謙介
橋川 和信、橋本 裕之、深水 秀一、本田 隆司、松浦慎太郎
水野 博司、森岡 康祐、渡辺 克益

開催年月日：①平成22年4月6日 ②平成22年9月15日

メール委員会随時

主な議題：1. 平成22年度春季学術講習会の件
2. 平成22年度秋期学術講習会の件
3. 平成22年度学術奨励賞

活動の概要：1. 平成22年4月6日（火）ホテル日航金沢において腫瘍、医療安全をテーマに平成22年春期学術講習会を開催した。参加申し込み294名であったが、うち欠席3名、遅刻1名であった（遅刻者は聴講のみ、受講証せず）。当日聴講申し込みが2名あった。

2. 平成22年9月15日（水）パシフィコ横浜にて平成22年

秋期学術講習会を医療安全、癬痕・癬痕・ケロイドのテーマで開催した。参加申し込み240名、欠席1名、当日聴講申し込みが3名あった。

- 平成22年度学術奨励賞は今年度より機関誌以外部門のみ公募となり計13編（基礎部門7編、臨床部門6編）の応募があった。候補論文6編（基礎部門3編、臨床部門3編）と機関誌編集委員会より選定された機関誌部門候補論文5編（基礎部門2編、臨床部門3編）の合わせて11編を理事会に上申し、以下の4編が学術奨励賞に決定した。

《学術奨励賞》

- ・寺瀬 佳苗（昭和大学形成外科）
『Fractional CO2 laser 照射後人工皮膚モデルの組織再生に関する基礎研究』
日形会誌 30： 391-402, 2010
- ・吉村浩太郎（東京大学形成外科）
『Adipose tissue remodeling under ischemia：Death of adipocytes and activation of stem/progenitor cells』
Plast. Reconstr. Surg. 126： 1911-1923, 2010
- ・寺師 浩人（神戸大学形成外科）
『Modified transmetatarsal amputation 40 患肢の検討』
日形会誌 30： 678-684, 2010
- ・力丸 英明（久留米大学形成外科）
『A New Therapeutic Strategy for Lengthening Severe Short Nose』
The Journal of Craniofacial Surg. 21(2)： 495-498, 2010

＜ガイドライン作成部会＞

部 会 長：小林誠一郎

委 員：秋元 正宇、天方 将人、江口 智明、緒方 寿夫、清川 兼輔
清澤 智晴、楠本 健司、菅原 康志、寺師 浩人、仲沢 弘明

開催年月日：平成22年4月8日

主 な 議 題：1. ガイドライン作成にかかる「利益相反」および「訴訟」に関する記載について。
2. ガイドライン作成の進捗状況
3. ガイドラインの査読・修正・承認・公表について
4. ガイドラインの説明スライドについて。

開催年月日：平成22年9月17日

主 な 議 題：1. 利益相反、訴訟等に関する記載の確認。
2. 文献取り寄せに係るアンケート調査結果と理事会決定について。
3. ガイドライン作成の進捗状況。
4. エビデンスレベル、推奨度の記載、推奨文、解説等の申し合わせについて。
5. 作成されたガイドライン（案）検討の進め方について。

6. 今後のガイドライン作成予定について。

開催年月日：平成22年10月28日（合同ガイドライン委員会）

- 主な議題：1. 合同ガイドライン委員会内規について
2. 作成の手引き、フォーマット等について
3. ガイドライン作成と提出書類について
4. 合同ガイドライン委員会での審議の進め方について

メール委員会3回開催

1. 乳房再建ガイドライン、眼窩底骨折ガイドラインの検討

- 活動の概要：1. 各種書類の整備
2. ガイドライン作成計画の立案と実施
3. 作成ガイドラインの吟味

<用語部会>

部会長：柴田 実

委員：梅田 整、菊池 雄二、木村 得尚、田中 一郎

活動の概況：かねてより日本医学会用語委員会に日本形成学会用語集ファイルと医学会用語集に統合の可能性を検討しておりました。2010年12月2日開催の日本医学会用語委員会においても、統合作業について日本医学会用語委員長 開原成允先生（国際医療福祉大学大学／東京大学名誉教授）と統合作業のお話を致しました。しかし、昨年末に委員長 開原先生が急逝されました。2010年1月に日本医学会に今後の統合作業について問い合わせを致しましたが医学会事務局は4月の日本医学会総会準備のため当面、統合作業は見合わせ、総会終了後に作業再開の予定である旨の連絡を受けました。

今回の東日本大地震で日本医学会総会は中止となりましたが、今後、日本医学会と統合作業について話し合いを進める予定です。

7) 機関誌編集委員会

委員長：細川 亙

委員：秋月 種高、石川 浩三、市岡 滋、稲川 喜一、今井 啓介
上田 晃一、梅田 整、梶川 明義、久保 盾貴、久徳 茂雄
光嶋 勲、櫻井 裕之、菅又 章、寺師 浩人、土佐 泰祥
鳥山 和宏、中岡 啓喜、永竿 智久、西本 聡、橋本 裕之
本田 隆司、松尾 清、松崎 恭一、水野 博司、矢野 浩規
杠 俊介、吉岡 伸高、吉龍 澄子、吉村浩太郎、米原 啓之
力丸 英明、若見 暁樹

開催年月日：①平成22年 9月16日

②平成22年10月25日（メール委員会）

③平成22年12月10日（メール委員会）

活動の概要：1. 投稿論文進捗状況（平成22年1月～12月受付分）

*平成23年2月28日現在

投稿数 132編（総説 1, 原著 36, 症例 89, CR 3, 投書 2, 返書 1）

掲載決定 102 編 (総説 1, 原著 26, 症例 69, CR 3, 投書 2, 返書 1)

進行中 24 編 (原著 7, 症例 17)

却下 6 編 (原著 3, 症例 3)

2. 学術奨励賞候補論文候補選出

平成 22 年度学術奨励賞候補論文候補として日形会誌 (Vol. 30, No. 1～12) より 2 編、JPSHS (Vol. 43, No. 6～Vol. 44, No. 5) より 3 編、計 5 編を選出し学術委員会へ推薦を行った。

3. 投稿規定改定

投稿規定改定案を作成し、平成 23 年 2 月 18 日の理事会において承認された。

4. オンライン投稿・査読システム進捗状況

オンライン投稿・査読システムへの完全移行に向け、システムの動作確認作業を継続中である。

8) 渉外・広報委員会

委員長：山本 有平

委員：赤松 正、今井 啓道、江尻 浩隆、小川 令、荻野 晶弘
小山 明彦、栗田 昌和、島田 賢一、菅原 康志、橋川 和信
林 礼人、富士森英之、松田 健、三鍋 俊春、元村 尚嗣
森 弘樹、山田 潔

開催年月日：①平成 22 年 4 月 7 日、②平成 22 年 9 月 16 日

主な議題：日形会ホームページのリニューアル

活動の概要：日形会新ホームページ公開 (2011/01/01)～日形会事務局：春恒社が管理



今後の課題：1. バナー広告の充実

2. TOPICS お知らせの充実

- ・ 市民公開講座、マスコミ (新聞・テレビ) の記事の公募
- ・ 各施設の案内記事の公募～link

9) 国際委員会

委員長：小林誠一郎

委員：磯貝典孝、光嶋勲、佐藤兼重、永竿智久

開催年月日：平成22年9月17日

- 主な議題：1. 国際学会の開催案内について。
2. 日中および日韓形成外科学会の件について。
3. Traveling fellow 制度について。

- 活動の概要：1. 開催案内をする国際学会について絞り込みを行い、自動的に掲載できるように検討する。
2. Traveling fellow 制度を提案する。

10) 社会保険委員会

委員長：内田満

委員：相原正記、井上邦雄、岩澤幹直、宇田川晃一、大久保文雄
大西清、大場創介、荻野浩希、金子剛、島田賢一
関口順輔、瀬崎晃一郎、田中嘉雄、鳥山和宏、西村剛三
二ノ宮邦稔、深水秀一、前川二郎、湊祐廣、村上正洋
村上隆一、吉田哲憲

開催年月日：①平成22年4月7日(全体)、②平成22年7月3日(在京)、
③平成22年8月6日(在京)、④平成22年9月4日(在京)、
⑤平成22年9月16日(全体)、⑥平成22年12月4日(在京)、
⑦平成23年3月5日(在京)、その他適宜 e-mail 委員会

活動の概要：1. 平成23年度診療報酬改定について

- ① 議員および認定施設・教育関連施設の施設長に対しては文書で、会員に対してはHP上で、診療報酬改定の要望項目に関するアンケートを行った。
- ② アンケートの内容を参考にし、社会保険委員により技術新設8項目、技術改正5項目、材料新規・改正3項目が選別され、さらにそれぞれに要望順位を付けた。
- ③ 平成23年度改正要望項目

技術新設

1. 骨内異物(挿入物)除去術 頭蓋・顔面(複数切開を要するもの)
2. 顔面多発骨折変形治癒矯正術
3. 遊離穿通枝皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)
4. ICGによる赤外線蛍光リンパ管造影
5. 陰茎再建術(尿道再建を伴うもの)
6. 乳房縮小術(性別適合手術におけるもの)
7. 自毛植毛術
8. 脂肪吸引術(再建目的に限る)

技術改正

1. 併施手術の加算点数見直し(対象手術：K016・K017・K019・K020・K021・K033) 加算点数の見直し(100/100加算)

2. 分層植皮術 (25cm² 未満、25cm² 以上 100cm² 未満、100cm² 以上 200cm² 未満、200cm² 以上) 点数の見直し (増点)
3. 画像等手術支援加算 2. 実物大臓器立体モデルによるもの 点数の見直し (増点)
4. 皮膚レーザー照射療法 2. Q スイッチ付レーザー照射療法 算定可能治療回数の見直し (「2回を限度」の廃止)
5. 画像等手術支援加算 1. ナビゲーションによるもの 対象手術の拡大 (K334・K334-2・K427・K427-2・K433・K434・K443)

材料新規・改正 (点数の新設)

1. スキンステイプラー
2. 顕微鏡下血管吻合用縫合糸
3. 熱可逆性樹脂

2. 外科系学会保険委員会連合 (外保連) 関連

下記のメンバーで活動を行った。

常任委員 : 関口 順輔、金子 剛 (平成 22 年 12 月まで)

総務委員会 : 関口 順輔

実務委員会 : 大西 清

手術委員会 : 金子 剛 (副委員長)、二ノ宮邦稔

処置委員会 : 関口 順輔 (委員長)、荻野 浩希

検査委員会 : 二ノ宮邦稔、荻野 浩希

コーディング ワーキング・グループ : 相原 正記

医療材料・医療機器 ワーキング・グループ : 前川 二郎

① 手術試案技術度 E 難度見直しについて

以下の 8 項目が E 難度に留まり、他の手技は D 難度に移行された

- 1) 深在性血管腫摘出術 (顔面、露出部)
- 2) 顔面神経麻痺動的再建術
- 3) 自家遊離複合組織移植
- 4) 自家遊離複合組織移植 (自動吻合器使用)
- 5) 頭蓋顔面拡大再建術
- 6) 頭蓋顔面拡大再建術 (延長器使用)
- 7) 全眼窩移植再建術
- 8) 陰茎再建術 2. その他のもの
3. 皮弁による尿道再建を伴うもの

② 手術試案第 8 版の医療材料入力に関して

前川委員が中心となり、医療材料 2-C の入力に関して、約 30 の施設から回答された結果をもとに、社会保険委員会で討議し、形成外科が責任学会である約 100 の術式に関して医療材料入力フォームを完成させた。手術のコーディングについては相原委員を中心に行った。

③ 処置試案について

関口委員が中心となり、処置試案の大幅な変更作業が行なわれた。

④新規術式の登録

手術試案第8版に自毛植毛術（D 難度）、遊離穿通枝皮弁術（（顕微鏡下血管柄付きのもの）（E 難度）、脂肪吸引術（再建に限る）（D 難度）を登録した。

3. 日本医師会疑義解釈委員会関連（金子委員）

形成外科に関わる案件なし。

4. 先進医療専門家会議、高度医療評価会議関連（金子委員）

形成外科に関わる案件なし。

5. DPC 関連（金子委員）

本年度は厚労省保険局による MDC 毎作業班会議は開催されなかった。

6. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連（金子委員）

形成外科学会より2名。社保委員外で鈴木啓之（千葉こども病院）。

本年度は活動なし。

7. 広報活動

①社会保険形成外科診療報酬早見表について

最終稿が日本形成外科学会ホームページの会員専用欄に掲載され、冊子も作成された。

②第53回日本形成外科学会学術集会において社会保険委員会報告『形成外科領域における診療報酬の改定』を開催した。

日時：平成22年4月8日（木）

司会：関口 順輔、内田 満

演者：宇田川晃一、大西 清

③第54回日本形成外科学会学術集会において、教育講演が行われる。

日時：平成23年4月15日（金）

司会：関口 順輔、内田 満

演者：宇田川晃一『レセプト審査の現状と保険診療Q&A』

大西 清『外保連の概要と現況』

金子 剛『先進医療・高度医療の現況』

8. その他

①医療上必要性が高い未承認の医療材料・医療機器に関して、今年度も適切なものが見当らず、申請を行わなかった。平成23年度は会員へのアンケートを活用し、より広く候補を募り、申請を行う予定である。

③集団的個別指導（平成22年評議員提出議題）について評議員および認定施設・教育関連施設の施設長に対しては文書で、会員に対してはHP上で実態把握のためのアンケート

トを施行した。形成外科開業医で同様の問題を抱えている人がいることが判明した。
学会としての対応を検討し、対策を進めることとした。

1 1) 倫 理 委 員 会

委 員 長：楠本 健司

委 員 員：大慈弥裕之、熊谷 憲夫、田原 真也、鳥飼 勝行、野瀬 謙介
宮脇 剛司、吉村 陽子

開催年月日：メール委員会

主 な 議 題：1. 個人情報保護方針の検討
2. ビデオライブラリー作成依頼、貸与の指針の検討

活動の概要：1. 個人情報保護方針は現行方針
2. ビデオライブラリー作成依頼、貸与の指針原案の作成

1 2) 制 度 検 討 委 員 会

委 員 長：百東 比古

委 員 員：朝戸 裕貴、内田 満、清川 兼輔、平野 明喜、村上 正洋

開催年月日：第1回委員会 平成22年4月9日

主 な 議 題：1. 定款の改定
2. 評議員定数の格差についての検討
3. 評議員欠員の補充についての検討

開催年月日：第1回メール委員会 平成22年5月17日

主 な 議 題：1. 定款の改定
2. 評議員選挙施行細則の改定
3. 会費未納などによる会員資格停止者の扱いについての追加
4. 研修医期間の症例の専門医試験への利用について理事会への意見

開催年月日：第2回メール委員会 平成23年1月31日

主 な 議 題：1. 文部科学省指導による定款ならびに細則の改訂

活動の概要：上記議題につき検討を行った。

1 3) 企 画 調 査 委 員 会

委 員 長：川上 重彦

委 員 員：秋田 定伯、岸邊 美幸、小林 一夫、橋本 一郎、松浦慎太郎

開催年月日：メール委員会を随時開催した。

主 な 議 題：1. 平成21年度科学研究費の申請状況ならびに採択状況について
2. 卒後教育アンケート調査の結果送付について

活動の概要：1. 申請(採択)状況について形成外科医育施設を中心とした69施設にアンケート調査を行い、44施設から回答が得られた。アンケート結果では、平成21年度の新規申請件数は166件、新規採択数は30件でほぼ例年と同数であった。今後も調査を行う予定である。

- 平成21年度専門医試験受験者に対して行った卒後教育アンケートの結果が纏まったため、今後の卒後教育の参考資料として研修施設（認定施設、教育関連施設）長宛に送付した。

<データベース管理部会>

部会長：木股 敬裕

委員：垣淵 正男、金子 剛、小林 正弘、小室 裕造、武石 明精
田中 克己、前川 二郎、矢野 健二、山野辺裕二、山元 康徳
横井 克憲

担当理事：川上 重彦

開催年月日：データベース会議：①平成22年4月8日、②9月16日

データベースシステム会議：①平成22年4月8日、②6月22日、
③9月16日、④12月2日

その他：e-mail委員会20回以上

- 主な議題：
1. 契約書改訂
 2. 新メンバー加入（今井啓道、村上隆一）
 3. 学会DB（JSPS-CDB）のバグ（施設報告書作成の不具合）
 4. JSPS-CDB システム改良
 5. 22年次施設認定結果
 6. 22年次DB資料解析
 7. サポート体制
 8. 各種委員会とのJSPS-CDB利用に関する協議・検討
 9. 今後の方針

- 活動の概要：
1. 平成22年4月1日、新契約書による契約終了
 2. JSPS-CDB 使用状況に関するアンケート調査
 3. システムバグ：11.12月に対処
 4. アンケート調査結果によるシステム改良
A)各施設DBからJSPS-CDBへのインポート機能
B)利便性向上の小改良（一覧画面など）
⇒開発会社と契約（H23.2.28）、作業開始
 5. 22年次施設認定結果
JSPS-CDB 利用認定施設 236/259（91.2%）
JSPS-CDB 利用教育関連施設 149/173（86.1%）
JSPS-CDB を利用していない理由（重複あり）
 - ・倫理委員会関係：15
 - ・PCの確保ができない、破損：8
 - ・CD、パスワード紛失：8
 - ・人手不足：5
 - ・その他：8
 6. 22年次DB資料からの解析作業
H22.3.17-18に予定していたが、震災のために中止
 7. ホームページ上に、随時JSPS-CDBに関するQ&Aを掲示

今後の予定

1) JSPS-CDB の改良作業

インポート機能開発と小改良作業を、デモを含めて5月中に終了し、修正後に速やかに各施設に配布予定

2) JSPS-CDB のメンテナンスや大改良に関する検討

疾患分類・医療行為分類のマスターの入れ替え時期、システム自体の大幅な改良についてなどの検討

3) JSPS-CDB サポート体制の検討

各施設の負担による修理、または学会負担による修理などの内容による振り分けの検討

4) JSPS-CDB に関するアンケート調査

数年に一度は、JSPS-CDB をより良くするためのアンケート調査を実施

5) 22 年次データ解析に関する検討

集められたデータの出力内容の検討、資料作成の検討、配布先の検討、学会での発表等の検討を行う

6) 各種関係委員会との検討

各種委員会に対し、本システムを利用に関する協議を行う

- ・認定施設認定委員会：22 年次の結果を解析して改良を行う
- ・専門医認定委員会：専門医申請に関して

14) 将来計画委員会

委員長：清川 兼輔

委員：朝戸 裕貴、川上 重彦、多久嶋亮彦、野崎 幹弘、波利井清紀
平林 慎一、三鍋 俊春、山本 有平、力丸 英明

開催年月日：平成22年4月9日

主な議題：1. 基本診療科としての基礎作りについて

2. Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery の取り扱いについて

3. 今後の日韓、日中形成外科学会のあり方について

4. 若手育成のための Traveling Fellow について

5. National Delegate について

活動の概要：1. 1) 二階建ての専門医制度；日本頭蓋顎顔面外科学会、日本創傷外科学会の専門医制度が開始され、日本形成外科学会の二階建ての専門医制度として両学会との覚え書きを作成した。日本形成外科学会内に特定領域指導専門医制度を発足し、皮膚腫瘍外科指導専門医制度が開始された。今後どのような特定領域の指導専門医（例えば再建外科、先天異常外科など）を設けるかの検討を進めていく。また、手の外科学会やマイクロサージャリー学会などについては、複数科に渡る横断的専門医制度として進めていく方針を確認した。

2) ガイドライン；今後もガイドラインの作成を随時進めていく。また、各関係学会でのガイドラインシンポジウムを企画していく旨を確認した。

3) データベース；もっと使いやすいものとするため（例えば他のソフトとの互換性を高めるなど）、予算を計上する旨が確認された。

2. Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery については、専門医のみ冊子体を送付することとなった。今後完全に冊子体を無くすかについては、将来予算等をみながら検討し

ていくこととなった。

3. 日韓、日中学会については、予算的に運営が徐々に厳しくな
ってきているため、今後日本形成外科学会が主催し、会長
のみが変わるシステムを導入していく旨を検討することが
提唱された。
4. 若手育成のための Traveling Fellow 制度が他の学会では盛
んに行われている。日本形成外科学会でもその制度を導入
するかを検討していくこととなった。
5. 野崎教授（東京女子医大）の National Delegate のご辞退に
伴い、清川委員（久留米大）が後任となり、山本委員（北
海道大）が補助していくこととなった。また、Exco member
としては、波利井教授・野崎教授より中塚教授（埼玉医大）
が推挙決定された。

15) 医療安全推進委員会

委員長：大慈弥裕之

委員：磯貝 典孝、岩平 佳子、酒井 成身、野平久仁彦、水野 博司
萩家 康弘、山下 理絵

開催年月日：①平成22年4月8日、②平成22年9月17日

主な議題：医療用医薬品機器の安全性に関する情報収集およびホームページ
を介した会員への情報提供

活動の概要：1. 以下をホームページに掲載した

- ① ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の改正等について
 - ② 医療用医薬品の有効成分の一般用医薬品としての利用も可
能と考えられる候補成分について
 - ③ 平成22年度治験基盤整備事業の申請受付について
 - ④ 医療機器の不具合等報告の公表および活用について
 - ⑤ ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の疑義解釈につ
いて
 - ⑥ 医療機器不具合等報告の集積結果についての注意事項
2. 医療用医薬品機器の安全性に関する情報収集について検討
- ① 形成外科・美容外科に関連のある医療用医薬品機器の医療承
認、FDA 認可等の認可状況について調査した。

16) 専門医統括会議

委員長：中西 秀樹

委員：朝戸 裕貴、川上 重彦、清川 兼輔、佐藤 兼重、鈴木 茂彦
平林 慎一、細川 亙、丸山 優、山本 有平、吉村 陽子

開催年月日：①平成22年4月8日、②平成22年7月30日、
③平成22年9月15日、④平成23年2月18日

主な議題：1. 特定領域指導専門医について
2. ガイドライン作成のありかたについて
3. 日本専門医制評価・認定機構の報告

- 活動の概要： 1. 皮膚腫瘍外科指導専門医について、暫定措置対象者の認定等について検討した。また、新たな特定領域指導専門医についても今後引き続き検討していくこととした。
2. どのガイドラインシンポジウムを行うか、早めに各大会長へ知らせることを確認した。また、境界領域を優先にガイドライン作成を進め、シンポジウムを行い、形成外科固有のものは後に行うこととした。
3. 平成22年4月16日にヒアリングが行われ、専門医認定審査申請時に提出する10症例、60症例では症例報告数が足りない、専門医更新に最新の医療倫理・医療安全について理解把握しているか判断できる項目がないとの指摘を受けた。いずれも日本専門医制評価・認定機構より正式回答を受けた後、今後引き続き検討の予定である。

17) 皮膚腫瘍外科指導専門医認定委員会

委員長：山本 有平

委員：石原 剛、木村 中、清澤 智晴、黒川 正人、竹中 正樹
田中 克己、堤田 新、寺師 浩人、中岡 啓喜、中川 雅裕
橋本 一郎、林 礼人、百束 比古、平林 慎一、古川 洋志
細川 互、元村 尚嗣、安田 浩、吉龍 澄子

開催年月日：平成22年9月17日

主な議題：日本形成外科学会特定領域指導専門医制度

～皮膚腫瘍外科指導専門医の立ち上げ

活動の概要および予定：

【暫定措置対象者】

2010年(平成22年)8月～11月・・・暫定措置申請書類提出期間

2010年(平成22年)12月～2011年1月・・・書類審査期間～応募者 594名

2011年(平成23年)2月・・・理事会報告→合格者へ通知

2011年(平成23年)4月(第54回時)・・・評議員会・総会・認定証発行
→合格者へ送付

【指導専門医取得申請対象者】

2010年(平成22年)9月17日(第19回時)・・・第1回教育セミナー開催
～受講者 62名

2011年(平成23年)4月14日(第54回時)・・・第2回教育セミナー開催
～受講者 89名

2011年(平成23年)6月・・・指導医申請書類提出期間

2011年(平成23年)8月・・・書類審査

2011年(平成23年)10月(第20回時)・・・第3回教育セミナー開催

2011年(平成23年)10月5日(第20回時)・・・第1回認定試験(口頭試問形式)
実施

2011年(平成23年)11月・・・理事長報告

2012年(平成24年)1月・・・認定証発行→合格者へ送付

以後、総会および基礎学会時・・・年2回教育セミナー開催

以後、基礎学会時・・・年1回認定試験（口頭試問形式）実施

【委員会】

2010年(平成22年)4月7日(第53回時)・・・第1回開催

2010年(平成22年)9月17日(第19回時)・・・第2回開催

2011年(平成23年)4月13日(第54回時)・・・第3回開催

以後、総会および基礎学会時・・・年2回委員会開催

【教育セミナー・認定試験開催：予定】

2010/09/17 08:00～09:00・・・第1回教育セミナー開催

- 1) 山本有平 悪性腫瘍に対する局所療法～広範囲切除 20分
手術記録10例～提出例
- 2) 寺師浩人 有棘細胞癌 20分
手術記録10例～提出例
- 3) 黒川正人 母斑・良性腫瘍：上皮系 20分
手術記録10例～提出例

2011/04/14 08:00～09:00・・・第2回教育セミナー開催

- 1) 清澤智晴 生検 20分
手術記録10例～提出例
- 2) 堤田 新 メラノーマ 20分
手術記録10例～提出例
- 3) 木村 中 母斑・良性腫瘍：神経堤系 20分
手術記録10例～提出例

2011年(平成23年)10月(第20回時)・・・第1回指導医試験
(口頭試問形式)

2011年(平成23年)10月(第20回時)・・・教育セミナー開催

- 1) 古川洋志 センチネルリンパ節生検 20分
手術記録10例～提出例
- 2) 竹内正樹 基底細胞癌 20分
手術記録10例～提出例
- 3) 橋本一郎 母斑・良性腫瘍：付属器系 20分
手術記録10例～提出例

2012年(平成24年)4月(第55回時)・・・教育セミナー開催

- 1) 中川雅裕 頸部郭清術 20分
手術記録10例～提出例
- 2) 田中克己 悪性腫瘍：間葉系 20分
手術記録10例～提出例
- 3) 安田 浩 母斑・良性腫瘍：間葉系 20分
手術記録10例～提出例

2012年(平成24年)10月(第21回時)・・・第2回指導医試験
(口頭試問形式)

2012年(平成24年)10月(第21回時)・・・教育セミナー開催

- 1) 深水秀一 病理組織の見方 20分

手術記録 10 例～提出例

2) 吉龍澄子 乳房外パジェット病 20 分

手術記録 10 例～提出例

3) 中岡啓喜 血管腫、血管奇形 20 分

手術記録 10 例～提出例元村尚嗣

2013 年(平成 25 年)4 月(第 56 回時)・・教育セミナー開催

1) 石原 剛 単径郭清術 20 分

手術記録 10 例～提出例

2) 元村尚嗣 腋窩郭清術 20 分

手術記録 10 例～提出例

3) 林 礼人 悪性腫瘍：付属器系 20 分

手術記録 10 例～提出例